

Q17. CEFR-JとCEFRとの関係

発表者：ハファ

CEFR-J構築の目的

CEFRの目的

複言語主義を促し、EU圏内の社会的な文脈への理解を深める。

英語中心の機能主義・経験主義（Threshold level）をもとに、一般的に外国語すべて能力記述の作成を可能にする。

CEFR-Jは？

CEFR枠組みを参考に、日本における英語教育に関する枠組みを把握する。

出発点：2004年の「第二言語習得研究を基盤とする小，中，高，大の連携をはかる英語教育の先導的基礎研究」（代表：小池生夫）

①「達成すべき英語能力」とは？ ②統一的指標が作れない？

CEFR-J構築の基本コンセプト（1/2）

CEFR-Jを開発するため3つの課題

1. 英語学習者の「分解能」

「日本人の英語学習者の実態は」 Negishi, Takada & Tono（2012）

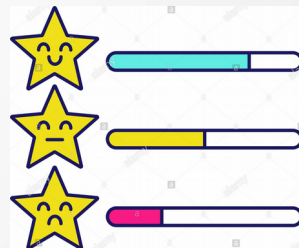
Aレベルの日本人数：8割

個人差で「できること」の記述が不可能として、Aレベルの細分化が必要。

2. A1レベルの細分化

A1レベル：日常会話での基礎的な表現やフレーズが理解できる・使える。

A1レベルに達するため以前の言語知識が必要として、Pre-A1を想定する。

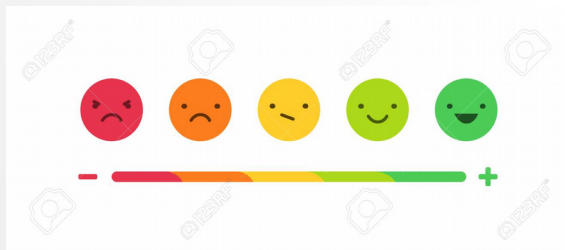


CEFR-J構築の基本コンセプト（2/2）

3. 参照枠は「評価」のためか「指導や学習」のためなのか？

最初は大半「評価」のために使う傾向があった。

現在のCEFR-J: 教材をCEFRレベル設定に基づき、
カリキュラムやシラバスの開発にも評価にも使われている。



CEFR-Jのレベル設定

日本人英語学習者のニーズに合わせたレベル細分化

表1：CEFR と CEFR-J のレベル

CEFR		A1	A2	B1	B2	C1	C2
CEFR-J	Pre-A1	A1.1 A1.2 A1.3	A2.1 A2.2	B1.1 B1.2	B2.1 B2.2	C1	C2

CEFR-J設定レベルの特徴

Pre-A1レベル

A1レベルを三つ、A2レベルを二つの細分化したレベル

CEFR-Jのディスクリプタ作成

CEFRのCAN-DOディスクリプタでは

質的・量的調査の両面から教育経験や直観によるチームで作成する。

CEFR-Jの作成プロセスでは

◆専門家による質的な分析

◆中高の教員による「並べ替え調査」

◆中高大の英語学習者の「自己評価アンケート」

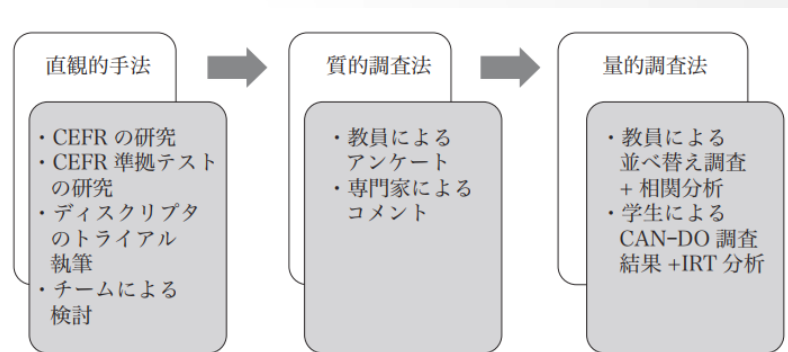


図1：CEFR-J ディスクリプタおよび参照枠の作成プロセス